

# 那覇西ロータリークラブ

国際ローター 2580 地区

創立 1962 年 6 月 4 日

2020年2月26日

週報 第2595号

プログラム案内



本日のプログラム

2月26日(水)

- ・点鐘
- ・ロータリーソング
- 日も風も星も
- ・会長報告
- ・幹事報告
- ・立食

次回予定

3月4日

四つのテスト

- 1、真実かどうか
- 2、みんなに公平か
- 3、好意と友情を  
深めるか
- 4、みんなの為に  
なるかどうか

## 例会報告

第2712回(2020年2月5日)

### 出席報告

会員数	出席数	欠席数	出席率	前々回 訂正出席率
60名	33名	23名	59%	66%

### 欠席会員

石川、高田、具志堅(一)、上原、大城(博) 儀部  
福重、久保、渡慶次、立津、三浦、當真、丸橋  
照屋(紀)、城間(巖)、橋本、大田、臼井、古荘  
伊藤、堀井、南風原、水城会員

### ビジター

田端静夫(那覇南)

田中久光(浦添)

### ニコニコBOX

合計¥10,000 累計¥246,000

田中久光 久しぶりの親クラブへのメイクアップ  
(浦添) 宜しくお願いします。

田端静夫 地区大会への参加宜しくお願いします。  
(那覇南)

会長 比嘉広明 副会長: 大城純市 新里順一

幹事: 大庭 憲

例会日 毎週水曜日 12時30分

例会場 沖縄ハーバービューホテル

事務局 那覇市松山1-1-14 那覇共同ビル6階

TEL: 861-7824 FAX: 861-7825



比嘉広明 来週の地区大会への参加宜しくお願いします。

大城純市 来週の地区大会を盛り上げて行きましょう!

豊村良春 安里清榮会員の卓話楽しみにしております。

1月度皆勤バッジ

石川正一(37年) 小林 充(3年)

2月度誕生祝い

當間良明(2月1日) 具志堅一真(2月9日)

名幸俊海(2月2日) 橋本孝彦(2月10日)

大城純市(2月5日) 城間 一(2月23日)

豊村良春(2月9日) 高田和泰(2月26日)

### 会長挨拶



先ほど2月度の理事会がありまして、4月から支給が始まります、那覇西奨学生2名が決定をしております。月1回の例会に参加していただき懇親を深めたいと思っております。いよいよ来週地区大会が開催されます。私共が担当しますRI会長代理歓迎晩餐会、先ほど新里順一小委員長からご報告ありました通り、99%まできているということです。中堅若手の皆さまには当日のお手伝いをお願いしているところですが、なかなか参加することが少ない歓迎晩餐会の雰囲気味わっていただけたらと思っております。

今週来週は地区大会一色なるかと思いますが、地区

大会が終了した後は、宇治鳳凰クラブ 30 周年大会があったり、バギオがあったりと事業が控えております。引き続き皆さまのご協力をお願いいたします。

## 幹事報告

### 宇治鳳凰ロータリークラブ

#### 創立 30 周年記念式典ならびに祝宴のご案内

日 時 2020 年 3 月 29 日 (日)

第一部 記念例会 登録受付 午後 4 時 30 分～

例 会 午後 5 時～5 時 40 分

第二部 記念式典祝宴

式 典・祝 宴 午後 6 時～8 時

会 場 ホテルグランヴィア京都 3 階 源氏の間

京都市下京区 J R 京都駅ビル Tel 075-344-8888

登 録 料 お一人 15,000 円

お手数をお掛け致しますが 2 月 22 日までに返信、お振込みをお願い致します。当日は午後 4 時より呈茶席をご用意してお待ちしております

国際ロータリー第 2580 地区

ガ バ ナー 新本博司

地区大会実行委員長 稲垣純一

ホストクラブ会長 喜屋武力

拝啓 時下益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、千玄室 RI 会長代理ご来臨のもとで、去る 2 月 12 日・13 日開催されました国際ロータリー第 2580 地区年次大会にあたり、多数のご登録ご参加を賜り、厚く御礼申し上げます。

おかげさまで大勢の皆様のご参加をいただき、この大会が意義ある充実したものに出来ました事を深く感謝申し上げます。

不行き届きな点が多々あったことと存じますが、何卒皆様のご友情によりご容赦くださいませ。

ご登録、ご参加をいただきました貴クラブ会員の皆様にも、よろしくお伝えください。

貴クラブの今後益々のご活躍とご健勝をお祈りいたしまして、御礼のご挨拶といたします。

敬具

卓話 安里清榮会員

「神様だけが知っている『どう生きるか』」



今月は「平和と紛争月間」ということで、私と関わりがあると思って引き受けました。現うるま市の屋慶名で生まれましたが、元々はテニアン島で父と母が結婚し、懐妊後に沖縄で出産してテニアンに戻りまし

た。昭和 16 年の 6 月生まれで、戦時下の中 17 年 7 月にテニアンへ戻りました。19 年の 6 月頃にテニアンに攻撃が始まりました。空からも海からもそして地上線も始まり、日本人も島の人たちも沢山亡くなりました。父母弟と一緒に防空壕にて全滅の状態で、一人だけ生き残りました。防空壕から出て彷徨っているところを米兵が孤児収容所に連れて行かれました。戦争孤児の子供たちが沢山の中で、同じ部落出身の看護婦さんがいて、その方が私を見て叔母さんの所に連絡をしてくれました。その後昭和 21 年 2 月に軍用艦で沖縄へ戻ってきて、船から降りて初めて会う屋慶名の祖父に手を引かれて連れて行かれました。標準語と方言がいろいろありますが、テニアンでは標準語を喋っていましたので、屋慶名では方言なので意味がわからない。小学 1 年の時の学芸会があり、先生から「ウサギとカメ」のカメの役を与えられ台本を覚えるように言われました。しかし、学芸会は近づくも何も話がなく、気になっていたら、他の子が誰と誰が練習しているよと聞かされショックを受け、この事を誰にも言えず、自分一人の中に閉じこもってしまい、2 年、3 年と本が読めなくなりました。4 年生の時に「校門のかしの木」の本を手に入れ何度も練習し、本を見なくても読めるようになりました。新学期がはじまり、国語の本を開きました。そこで本を見ないで読める生徒は手を挙げなさいと言われ、恐る恐る手を挙げスラスラと読み上げることができ、これが大きな自信になりました。高校に進学する時、役所から生活保護世帯だから進学できないという事を言われました。お爺ちゃんには戦時のケガが原因で左手を切断しました。その状況で農作業を小学 1 年～手伝っていました。農業は食べる為にだけでしたから中学 1 年の時に生活保護世帯になりました。いとこのお姉さんが役所に行って「何故学力もあるのに進学できないのか？」と文句を言ってくれました。叔父さんが保証人になり認められましたが、逆に生活保護世帯を取り消され、生活環境が以前より厳しくなりました。高 1 の中間試験が終わってから自分の将来のことを考えた時に、その時代に国費試験制度がありました。国が面倒見て受験できる制度で、それを使うしかない叔母さんの所へ相談に行きました。自分が進学した時に祖父と祖母から離れるので、その世話が必要でした。しかし、叔母さん曰く「駄目だ」と。ショックでしばらく学校を休んでしまいました。その時思ったのは、誰もアドバイスもくれないし、自分一人で考えた人生を諦めようと思い、面倒見ることに決め、自分自身の人生を捨てた気持ちになりました。[船頭小唄] 大学進学を諦めてどうするか考えた時に、自宅近くにあった郵便局職員になれたらと思いました。そのためには公務員試験を受けなくてはならない。そのためには勉強しなくては行けないと、一生懸命勉強し合格できました。今思えば 16 歳の少年が良く考えたことだと感じます。最近「徳」という言葉を考えます。目の前のことを一生懸命、捨て身でやってきました。30 歳の時本土復帰でしたが、その前に公認会計士の資格を取り、顧問先が一件もない捨て身の状態で開業しました。16 歳から 14 年間頑張ったおかげで、徳なのかと最近考えます。それから 30 年後、お祖母ちゃんは 91 歳の時に亡くなり、自分の役目が終わりました。これまで誰にも相談することなく自分の人生は自分自身で決めてきました。本当に「神様だけが知っている」という思いです。